

大伴家持生誕 1300 年記念
秋の特別企画展

家持が 見た薬草



『万葉集』には 160 以上にもものぼる植物が登場し、その植物が持つ特性や美しさと共に、万葉びとの心情を表現する役割も担っています。今回の特別企画展では、そうした万葉植物の「生薬」という実用面にスポットを当て、日本古代史に登場する医学や薬に関するエピソードや、富山の和漢薬の歴史などにもふれながら、『万葉集』の最終編者で越中国守として 5 年間現在の富山県高岡市伏木に赴任した大伴家持が歌に詠んだ万葉植物を中心に紹介します。

◆おもな展示内容

- 富山の薬売りや越中高岡の幕末の医家 ● 神農と『万葉集』 ● 万葉時代の医療
- 大伴家持の越中名歌にみる万葉植物と生薬 ● 紫草の歌世界 ● 聖武天皇と鑑真と生薬
- 殿様学者富山藩主前田利保と本草

平成 29 年

8月23日(水)



10月16日(月)

開館時間 午前9時～午後6時(入館は午後5時15分まで)
 休館日 毎週火曜日・8月21日(月)
 観覧料 一般…210円 中学生以下…無料
 65歳以上…160円 団体(20名以上)…170円



日下常由「春の苑」(高岡市万葉歴史館蔵)



『本草通串証図』(富山県立図書館蔵)



岩崎濯園『本草図譜』1916年刊
(富山県立図書館蔵)



担当研究員による展示解説 ※申し込み不要

- ① 8月26日(土) 午後4時30分 ※高岡万葉セミナー終了後
- ② 9月 3日(日) 午後3時30分 ※記念講演会終了後
- ③ 10月7日(土) 午後2時 ※高岡万葉まつり期間中



2017高岡万葉セミナー「大伴家持歌をよむⅠ」

3人の著名な万葉集研究者が、鋭い切り口で越中赴任以前の家持の歌世界を紐解きます。

8月26日(土) 受講料 3,000円(学生1,000円)



万葉歌人になろう! 万葉衣装の着付け体験

9月16日(土)・17日(日)・18日(月・祝)・23日(土・祝)

午前9時～午後4時

観覧料込 500円(写真付)



Cafe

「あいの風茶寮」

庭園を眺めながら
スイーツやランチも
楽しめます。

- ランチ…980円～
- ドリンク…480円～

営業時間

平日

午後10時30分～午後3時

土・日・祝日

午後11時～午後2時30分

※Cafeご利用の方は観覧料
が団体料金になります。



交通のご案内

◆最寄り駅JR氷見線 伏木駅から

【当館までの距離 約1.5km】タクシーで約5分、徒歩約25分

◆JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅から

【バス】加越能バス伏木方面(西回り)・伏木方面(東回り)のいずれかに乗車(約30分)し「伏木一」の宮バス停で下車、徒歩約7分

【タクシー】約20分

※「北陸新幹線 新高岡駅」と「JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅」の間は、10分間隔でバス便があります。(所要時間約10分)

◆お車で

【能越自動車道】高岡北インターから約20分、高岡インターから約25分

【北陸自動車道】小杉インターから約35分、高岡砺波スマートインターから約35分



高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11 電話 0766-44-5511 FAX 0766-44-7335
E-Mail:manreki@takaoka-bunka.com http://www.manreki.com

歴史館の最新情報、日々の出来事はツイッターで 家持くん @manreki いけぬし君 @ikenushi おいらつめちゃん @oiratsume 万葉人・高岡市万葉歴史館館長 @akahitomosimaro